



令和7年7月31日発行

法人理念

人が人として人とともに豊かに生きる

基本方針

1. わたくし達は人との出会いを大切にします
2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます



社会福祉法人 甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター

〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2番9号 TEL:0798(47)4477 FAX:0798(43)1022

HP: <https://www.sunago.or.jp> E-mail: mail@sunago.or.jp



2階病棟



宮迫 大樹

「灘浜サイエンススクエアに行ってきました」

院外活動の日程が6月の中旬ということもあり、2週間前の天気は雨予報。梅雨入りかな…とそわそわしていましたが、当日は陽ざしの強い30℃越えの真夏日となりました。

今回行った場所は、神戸市灘区にある灘浜サイエンススクエア。「製鉄・発電・環境」をテーマにした展示物や体験ブース、音声案内付きのスライドで製鉄や発電について学べるコーナーがたくさんあり、帰りの時間まで楽しく過ごすことができました。また、ピタゴラスイッチのような装置もあり、予測不能な動きを見せる鉄球に目が離せませんでした。ほかにも1トンの鉄を持ち上げる体験があり、協力して持ち上げようとしたのですが…、ビクともしませんでした。まだまだ紹介したい体験がたくさんあり過ぎるので…ぜひ一度、訪れてみてください！入場料は無料。土日祝には参加型の実験が開催されており、夏休みには自由研究対策イベントや、いろいろなイベントが実施されることもあるそうです。帰院前には、近くの緑地公園の海沿いを散歩し、海風を感じました。

令和7年度 保護者会総会報告

保護者会 会長 大谷 晃 様

入所部門

《令和7年度 保護者会役員》

役員	病棟	名前	今期
会長	4階病棟	大谷	新任
副会長	西病棟	横井	留任
	3階病棟	福田	新任
会計	3階病棟	木田	留任
書記	2階病棟	榎元	新任
常任幹事	西病棟	堅山	新任
	2階病棟	西倉	留任
	3階病棟	川路	新任
	4階病棟	白旗	留任
幹事	2階病棟	小宮	留任
	2階病棟	榎元	留任
	3階病棟	阿部	新任
	4階病棟	玉井	新任
会計監査	2階病棟	永瀬	新任
	4階病棟	前園	新任

《互助会役員》

※互助会はなくなりました。

始めに、昭和42年4月、兵庫県内初の重症児施設として「砂子療育園」が70床で創立されました。現在180床の入所部門の他、外来診療、リハビリテーション、短期入所、訪問看護、在宅支援他、地域に密着した総合医療福祉施設として今日があります。

すなご園創立60周年を迎えようとしています。入所者の日常生活を支えておられる職員の皆様方への感謝は海より深いものがあります。御礼申し上げます。

私事ですが、娘(友佳子)が4階でお世話になっています。今年で50才になりましたが、娘はすなご園とともに人生を歩んでいます。職員の皆様方にはお世話になりますが、今後とも何卒よろしく願い申し上げます。

小生も今年10月で80才(傘寿)となります。

役員歴3年目の令和7年度保護者会総会にて、皆様方の信任を受けて、会長の重責を賜りました。微力ながら職責を負う様努めたく存じます。

「人が人として人とともに豊かに生きる」すなご園の理念のもと、今後とも入所者に寄り添い日常生活に安心、健康、喜びを持てるように、職員の皆様方、保護者の皆様方とともに歩んでいきたいと思っております。

今後とも、ご指導、ご支援の程何卒よろしく願い申し上げます。

重症児者通所支援室

つばさ

中島 未佳

「久しぶりの院外活動」

つばさにとって2年ぶりの院外活動に行ってきました。

今回の目的は、“阪神電車に乗って武庫川団地駅前のマックスバリューでお買い物を楽しむこと”です。

電車では、少し緊張をしているからか周りをキョロキョロされる方、電車の揺れが楽しくて笑っている方、お出かけすること（外に出ること）が楽しくてテンションが高い方など、みなさんリアクションがさまざまでした。

スーパーに着いていざお買い物へ。買い物リストには、“今日の夜ごはん”・“おやつ”・“お菓子”・“お花”・“明日の朝ごはん”・“調味料”などがありました。

「どれにする?」「これかな?」「いっぱいあると迷いますね」など、職員とお話ししながら一緒に買うものを決めました。セルフレジでバーコードリーダーを手に持ってピツ、お金を機械に入れる買い物体験もしました。

つばさに帰ってきたら、終わりの会でプチ報告もしました。購入したものを見せる方もいれば、「楽しかった?」と聞かれ、フフっと笑う方もおられました。「初めて電車に乗った!」「久しぶりに電車に乗った!」「お買い物楽しめて良かった!」など、ご家族の方からもお声をいただきました。

久しぶりの外出で限られた時間ではありましたが、利用者一人ひとりが目的をもって参加することができ、利用者にとっても職員にとっても楽しい時間となりました。



4階病棟



玉崎 千世

新サークル部発足!!

4階病棟では、利用者の方々に病棟内サークル活動に参加いただいております。今年度より新たに“喫茶部”ができました。

今回の活動では、コーヒー豆を挽き、ドリップコーヒーを飲むことにしました。コーヒーは日頃から飲んでいますが、豆を挽く経験はないので、豆を出して香りを楽しんでもらいました。初めて見るコーヒーミル。何か分からない様子でしたが、豆を入れノズルを回し始めると、しっかり握って真剣な表情で回していました。粉になったコーヒーからは、またさっきとは違う香りが漂ってきて、実際お湯を注ぎコーヒーが出始めるとさらに良い香りが♪みなさんの表情も緩み、笑顔になっていました。その後、栄養課でドリップしてもらったコーヒーをブラックのままですべて出させていただき、いつもと一味違うのかゴクゴクと良い表情で飲まれていました。

次回の喫茶部では、かき氷?クリームソーダ?何する?という話題に皆さん楽しみにしている様子で、初の喫茶部活動は終了しました。



3階病棟



松岡 理沙

5月26日に「神戸須磨シーワールド」に行ってきました。行きのバス車内で、職員から「オルカって知っていますか?」と質問をされると、利用者の方々は首を振ったり不思議そうな顔をしたり、「知らない」と答えたりとそれぞれが反応され、「シャチのことですよ」とお伝えすると、ピンときたようで笑顔が見られました。

到着後は車内でお弁当のメニューを復唱し、「美味しいね」と言いながら召し上がっていました。昼食後は、ショーの開始前にペンギンや亀を見に行き、水槽を見上げてじーっと目で追ったり、「ペンギン見えた」と言っていて嬉しそうにされたりしていました。ショー観覧会場で待機している間も、シャチが見えるとニコッと笑顔になっていましたが、音楽が鳴りショーが始まると、驚いた表情をされ視線がぐっと上がって真剣にショーを観たり、水しぶきがあがると「すごいねえ」と言ったりして、終始楽しまれていました。



西病棟



中島 光晴

院外活動「手塚治虫記念館」

久しぶりのお出かけということもあり、バスに乗り込むと窓の外を眺めたり、声を上げたり、利用者の皆様それぞれ違った様子のなか、ドライブがスタートしました。

手塚治虫記念館に到着すると、館内の照明やBGMなどの雰囲気からか発声も止まり、静かに周りを見渡す仕草が見られました。展示ブースを過ぎると、これまでの手塚治虫作品の原画やキャラクターのオブジェ・フィギュアが並び、「火の鳥」などの色鮮やかな作品に対して、じっと集中して見ている印象を受けました。ほかには過去のアニメーションが見られるブースや世界観を表した休憩所などがあり、終盤のブースに辿り着くまでには職員も懐かしい気持ちを抱きながら、「この作品観ていましたか?」「主題歌覚えていますか?」など、利用者への声掛けが自然と増えていき、利用者もニコニコ笑いながら答えてくださいました。

帰りのバスでは、すぐに眠られた方や窓の外を見ながらドライブを楽しまれる方などさまざまでした。1日を通してふだんと違った視線や仕草が見られたことや、ゆっくりと利用者へ寄り添えた時間はすごく貴重で楽しい思い出です。利用者の方々にとっても、今回のお出かけが楽しい思い出でありますように。



2025年度 トライやる・ウィーク



研修室 田原 賀代

今年度も、鳴尾中学校の生徒2名と学文中学校の生徒2名を受け入れました。5日間の取組みを通して、それぞれの専門職の仕事を知ってもらうことができたと思います。看護体験では、当センターの看護師から模型を使用した医療的ケアについての説明を受けたり、血圧測定の実技を体験しました。また、発達障害療育の体験や入所利用者と一緒に作っている坊主の飾り付け制作に取り組みました。そのほかの部署体験においても、初めてのことに緊張は見えましたが、さまざまな仕事に一生懸命取り組まれていました。

鳴尾中学校 2025年5月26日(月)～5月30日(金)

初めて西宮すなご医療福祉センターに行った時は、緊張していたので自分から進んで障害を持った方としゃべることができませんでした。加えて、センターで働いている方々に先に挨拶をすることもできませんでした。しかし、2、3日行っていたら慣れてきて、先に大きな声で挨拶ができるようになりました。4日目は「ねっこ」という場所に来ている小さな子たちとも仲良くなれて、抱きつかれるくらいでした。5日目には、勇気を出して障害を持った方に質問をしたり、話しかけたりすることで少し仲を深められたと思います。僕はこの1週間でいろいろな方と関わることで、コミュニケーション能力を高められたと思います。コミュニケーションを取ることは、これからとても大事になると思うので、この1週間は僕にとって意味のあるものにできました。

僕は、この事業所でさまざまなことを学んだり体験をしたりしました。例えば、障害をお持ちの方たちとコミュニケーションを取ったり、介護のお手伝いをしたりしました。そのなかでも特に印象に残ったことは、三つあります。一つめは3階病棟で行った制作の現場体験、二つめは家政体験、三つめは6階活動室で行った発達障害療育です。どれも貴重な体験をさせてもらいました。3階病棟で行った制作現場体験では、利用者の方と関われる機会があり、たくさんしゃべったり本を読んだりしました。家政体験では、介護用のタオルや衣類などをたたみました。陰から支えている人たちがカッコいいと思いました。活動室で行った活動は、子どもたちと遊べて楽しかったです。子供たちと本を読んだ時間は、とても思い出になりました。これらのほかにも貴重な体験をしました。僕はこの事業所に行ったことで、将来色々な人と関わってコミュニケーションを取る仕事に就きたいと思いました。とても大切で貴重な体験、ありがとうございました。



学文中学校 2025年6月2日(月)～6月6日(金)

5日間本当にお世話になりました。私たちのためにたくさんの貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。ふだん関わることが少なかった施設に行かせていただくことになって、想像がつかず行く前は少し怖い気持ちもありました。ですが、事業所の方は皆さん優しく、丁寧で、「こんなあたたかい職場だったら、仕事ははかどりそうで、やりがいを感じられるだろうな。」と思いました。すれ違う際に、挨拶も自分から「こんにちは。」「お疲れ様です。」と言うのが楽しみになるくらいでした。そして、利用者様とも自分なりに上手く接することができて、コミュニケーションの練習にもなりました。利用者様たちに、いかに楽しんでいただくかどうかという部屋や体験も工夫があってこだわりを感じました。相手のために同じ立場、同じ目線で話すことは意外と難しいと思うので、当たり前にできる人はすごいと思います。この経験をもとに、人に寄り添える人になりたいです。

5日間のトライやるウィークでたくさんのことを学ばせていただくことができ、とても貴重な経験となりました。利用者の方ともいろいろな交流を経て、コミュニケーションが取れるようになって良かったです。てるてる坊主を作ったり、一緒に制作をしたりと、いろいろな場面でさまざまな方たちと関わることができ、体験できて良かったです。うまくできるか不安なことも多く、教えてもらうことも多かったですが、皆さんがすごく優しく対応してくれて、5日間という長いようで短い期間にふだん生活しているだけでは絶対に経験できないことをさせてもらえて、本当に良かったです。リハビリや食事の見学も知らなかったことを教えてもらうことができ、とても良いトライやるウィークになりました。また、どこにいても優しく教えてくださったり話しかけてくれる方々のおかげで、長時間の作業でも楽しくすることができました。利用者の方々一人ひとりに合うリハビリをしていて、その人ができる最大のことをリハビリとして取り入れているところがすごいなと感心しました。利用者の方たちのがんばっている姿に心動かされました。将来、私も看護師となってたくさんの人に寄り添えるような人でありたいし、がんばっている姿を見守られるような存在でありたいです。

今回の体験のおかげで、より看護師として働きたいという思いが強くなりました。私もトライやるウィークでさせてもらったことを活かしながらこれからもがんばります。改めて、5日間ありがとうございました。



総合防災訓練

防災・防犯対策委員会 仁木 優

今回の防災訓練では火災を想定し、災害時に必要となってくるトリアージを行なう場面の訓練も実施しました。訓練を実施したことで、新しい知識・技術の向上の必要性や新たに必要となった物品の確認ができました。また実際にトリアージを行ったことで反省点も多くみられ、防災における必要なシステムの見直しを行なう観点からも、今後の訓練に活かしていけるようにしていきたいと考えます。

火災だけではなく、地震等の災害はいつ起こるか分かりません。

常日頃より災害を意識した環境づくり・業務を行なっていくことで、被害が最小限に収まるように、今後も西宮すなご医療福祉センター全体で、継続した訓練・意識づけに取り組んでいきたいと考えます。



西宮支援学校 訪問教育について

今年度より芦屋特別支援学校から1名の生徒が転入し、西宮支援学校による生徒2名への訪問教育が始まりました。教員や教科、スクーリングなど変わったことはたくさんありますが、ワクワクできる体験や、生活がより豊かになるような学習は変わらずにできるよう心がけていきたいと思っています。西宮支援学校は、西宮すなご医療福祉センターから車で10分ほどの近い距離にあります。月に一回程度のスクーリングやオンラインを行うなど、関係各所との連携を密にして多くの友だちと触れあえる機会が持てればと考えています。

今年度は西村優平、本山泰子、磯野薫の3名で訪問教育を担当させていただきます。

今後とも、教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



SUNAGO LIFE

総務課 間 太生

【SUNAGO LIFE】

SUNAGO LIFE 優しさ溢れ 笑顔も涙も 分け合おう
SUNAGO LIFE 喜び溢れ 出会い 僕らを強くする

優しい風が 吹いてる 水上に浮かぶ 駅の近く
温かい手が そっと触れる 心の鼓動 また一つ鳴らす

深める信頼 地域の中で 人生が集う 武庫川のほとり
何気ない会話を 大切にしよう 「また明日ね」

SUNAGO LIFE 優しさ溢れ 笑顔も涙も 分け合おう
SUNAGO LIFE 喜び溢れ 豊かな心を育てよう

スタートライン歩み出す1965 ピースサイン表す feeling alive
ストレスなexperience 想う気持ちが無敵のライセンス

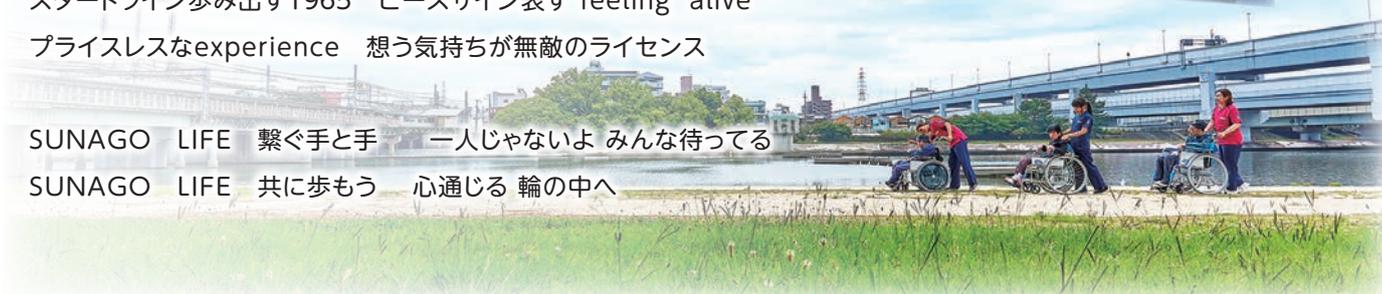
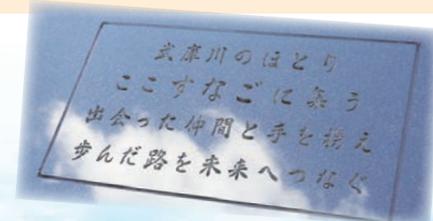
SUNAGO LIFE 繋ぐ手と手 一人じゃないよ みんな待ってる
SUNAGO LIFE 共に歩もう 心通じる 輪の中へ

これはAIとの共同制作により作曲した曲の歌詞です。私は間接部門に所属しているため利用者と接する機会はありませんが、看護師や生活支援員をはじめとしたセンター職員の様子を見ているので、その時感じた思いを歌詞に落としてみました。この曲を挿入した施設紹介動画をユーチューブで公開しているので、気になっていただけの方はぜひご視聴いただければ嬉しく思います。

URL <https://youtu.be/aBv18EazAJA>



ホームページの採用情報ではその他の動画も公開中です。よろしければホームページもぜひご覧ください。HP <https://www.sunago.or.jp>



〳善意、令和7年5月～令和7年7月

寄付金 (順不同 敬称略)

7月 大谷 晃
他 匿名



利用者様の作品紹介

3階病棟 高坂 沙紀子

4月13日から大阪・関西万博が始まりました。久しぶりに大阪での開催ということもあり、いろいろな番組で万博特集が放送されているのを利用者の方と見る機会がたくさんあったので、みなさんにも万博をより身近に感じてもらおうと思い、日曜日の活動でミャクミャクづくりを行いました。お花紙を一生懸命握ってくれたり、ミャクミャクの目をペンで真剣に描いたり、みなさん思い思いに作られ、たくさんのさまざまな顔や大きさの違うミャクミャクが完成しました。完成したミャクミャクを見て、嬉しそうに笑ってくださる方や顔はめパネルのように顔にはめる方など、楽しんでくださったことと思います。

今年の療育祭は『すなご万博2025』になったので、そこでまた他病棟の方にも作品をお披露目できたらいいなと考えています。



編集後記

今年は梅雨を体感する時期が短く、新緑の季節が過ぎたと思えばいきなり真夏の日差しに見舞われる事態となりました。少し外に出るだけで身の危険を感じる暑さが続く近年の夏。アクティブに過ごしたいのもやまやまですが、室内での快適な過ごし方を追求したくなりますね。節電はほどほどに。ご自身の健康を守るためにも、必要と感じたら迷わず冷房を付けて乗り切りましょう。



種橋 礼子

